

大阪府立泉北高等学校 泉北レモンPromotion



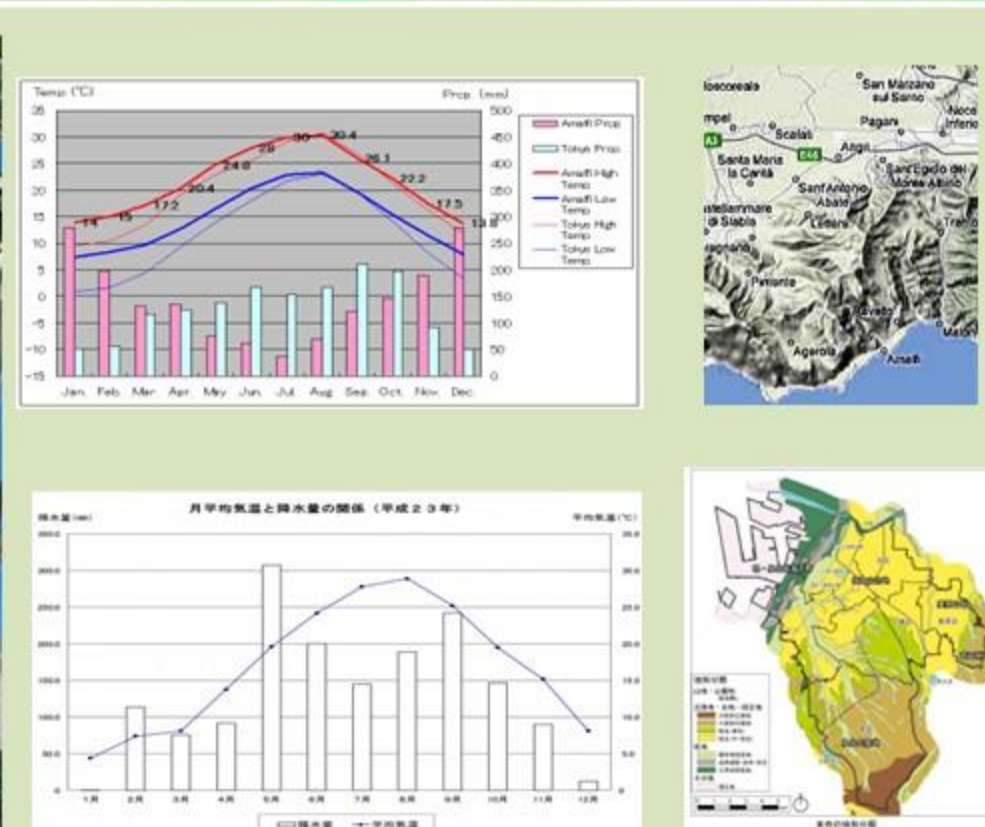
○堺市のふるさと納税返礼品になった「おふくろの味ミクス」をもっと多くの人に届けたい！

認知度を上げる取組み

- ・販売（泉北高島屋）
- ・メニュー開発（グリルチキン）
- ・広報活動（SNS/ナッジ/発表会参加）



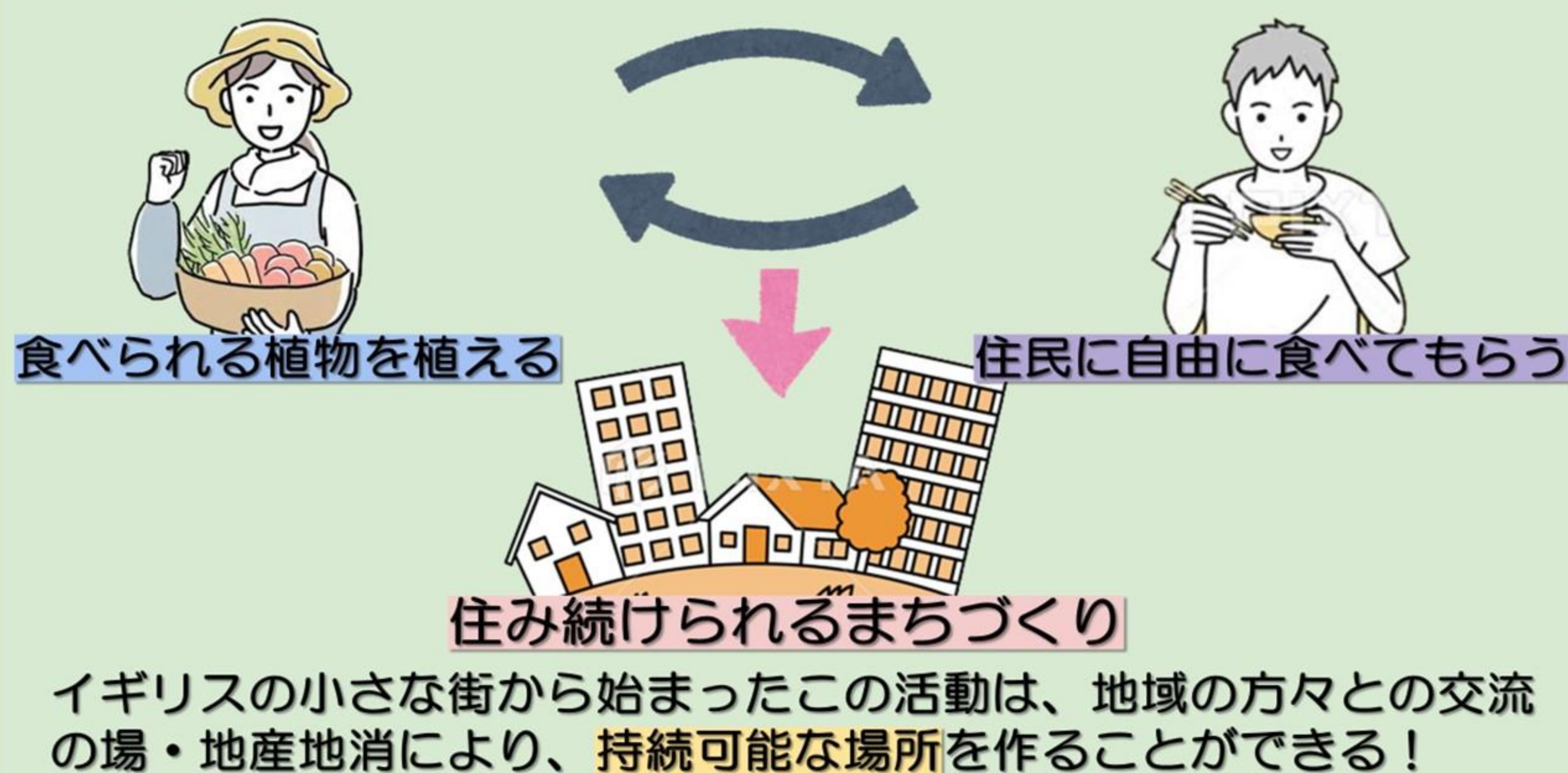
温暖で、雨季と乾季があり、丘陵地でレモンを栽培している世界遺産にもなっているイタリアのアマルフィ。多くの観光客が訪れる一生に一度は行ってみたい場所。泉北ニュータウンとの共通点とは？！



気候・地形に共通点！

泉北
アマルフィ化
計画

○インクレディブルエディブルとは



◎インクレディブルエディブル

○活動のテーマ

「インクレディブルエディブルで地域を巻き込み繋ぐ活動を

○活動の経緯

泉北NTを盛り上げられる持続可能な活動でさらに活気溢れる街にしたい！

○活動のゴール

泉北NTにエディブルガーデンを作る
→実証実験として泉北高校内にエディブルガーデンを作る
そして将来・・・
高齢者の方々の働く場所となり、作物を育ててもらう
→その収穫物を私たちが商品開発して売り込む
という循環社会を作りたい！



泉北NTの現状

少子高齢化
若者の流出

○リーフに注目した経緯

葉や茎、枝にも素晴らしい香りがある！
レモンの葉はそのまま食べられない！
→活用法が未開発

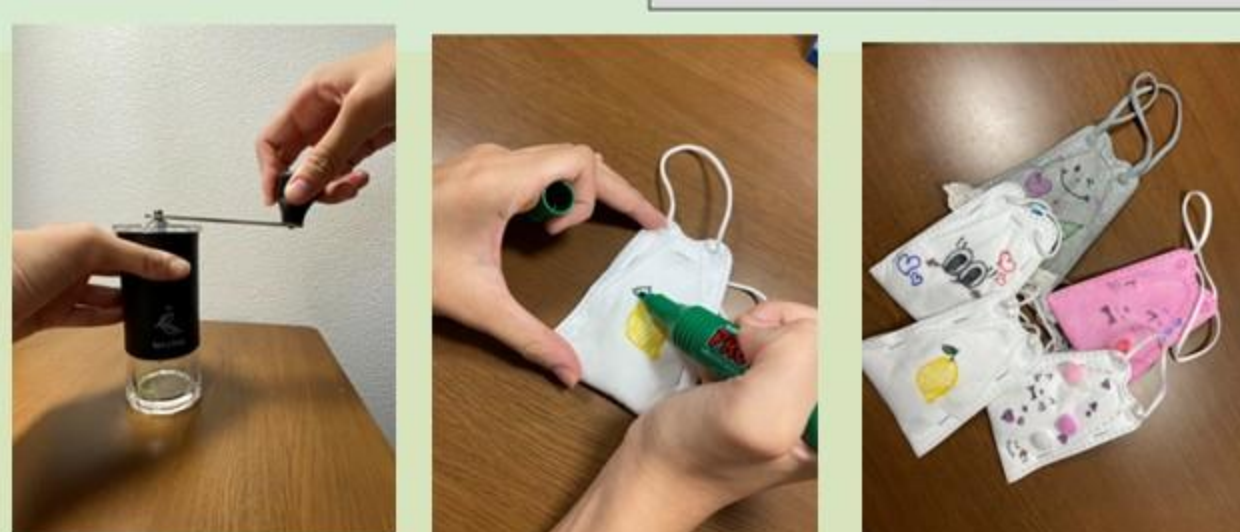
レモンの葉を有効活用
出来ないのかな？

○泉北レモンリーフ活用法案

①レモンのリーフでどんなものにも
使える魔法の粉を作る！
→新しい特産品が作ることができる



②レモンリーフの香り引き立つ
商品をつくる！
→料理以外のもので特産品を作れる



泉北レモン®の全ての魅力を発信！



泉北レモンで食べられる街に！

○貢献できるSDGsゴール～泉北レモン～



○貢献できるSDGsゴール～インクレディブルエディブル～



誰一人取り残さない
No one will be left behind

何も無い中に何が有るかを
探求すること

EVERYBODY
WILL JOIN!!



私たちは、「総合的な探究の時間」において、二兎を追いました。

一兎目：泉北レモンの果実で商品開発をしていた先輩たちにあこがれて始めた探究活動で、堺市のふるさと納税返礼品にまでなった「おふくろの味ミクス」の知名度があまり高まっていないという現状を打破すべく、その味の魅力や泉北レモン®についての背景、開発秘話などをPromotionしたいと考えました。各地での販売活動や、メニュー開発、魅力発信のための「ナッジ（仕掛け）」を考案し、人々の購買意欲や消費意欲を上げる取組みを行っています。また、栽培当初の果実がない状態をポジティブに捉え、「果実がないなら葉っぱでええやん！」という発想の転換により、レモンのリーフの香りやリーフの持つ様々な効能について説明することで未知なる可能性が生まれました。サシェのワークショップ企画、パウダー化して食べられるスプーンの共同開発など、レモンリーフの可能性を突き詰めていくと、「レモンのリーフってこんなに良い香りがするのかわ！」「今までなぜ誰もレモンリーフに着目しなかったのだろう！」という反応をたくさんいただきました。何より、実がなくてもリーフだけでこんなに楽しめるのか、という可能性が、レモンを自宅で育ててみようかな、という動きにつながりました。

二兎目：瀬戸内レモンやシチリアレモンのようにレモン農家による大量生産ができていない泉北レモンを支えるのは地域の皆さんによるレモン栽培でした。インクレディブルエディブルというイギリスのTodmordenで起きた現象を紹介することで、多くの企業や行政の皆様からご支援をいただき、絶対に叶わないであろう、公共の施設にレモンの木を6本設置することに成功しました。今後は誰もが自発的に世話をしたくなる「ナッジ（仕掛け）」を活用してコミュニティを巻き込んだレモン栽培の実現を目指します。いつしか誰もが町中に香るレモンの街を誇りに思える未来を願って、私たちの活動は続いていきます！